

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://info.pref.fukui.lg.jp/danken/danjo/f-net/f-net1.html>



ふくい女性ネットREPORT 17号は、仕事・家庭・育児を頑張る女性を応援する公開講演会、講師の方との交流会、お茶の水女子大学 羽入佐和子学長へのインタビュー、そして女子社員へのインタビューをお届けします。

ふくい女性ネット 公開講演会

平成24年1月21日(土) 福井県生活学習館にて、講師に(株)リクルートエグゼクティブエージェントの森本千賀子さんをお招きし、公開講演会を開催しました。この講演会は、仕事も家庭も、子育てもしたい！と思っている方の後押しになるよう、また、少しでも欲張りになって、今よりもっと充実した毎日を見つけるきっかけにさせていただこう、との思いでふくい女性ネットが企画したものです。



「仕事/家庭/育児のトライアングルハッピーな生き方」 ～ハッピーキャリアの創り方～

(株)リクルートエグゼクティブエージェント

エグゼクティブコンサルタント 森本 千賀子氏

森本さんは、リクルーティングアドバイザーとして、大手からベンチャーまで幅広い企業に対して人材戦略コンサルティング、採用支援サポート全般を手がける会社のトップ営業ウーマン。しかし、プライベートでは、「妻」「母」の顔も持っており、仕事・家庭・育児の“トライアングルハッピー”を目指して活躍されています。

尻込みしないで、とにかく何でもやってみること！！チャレンジ！！

【1】大事にしていること/意識していること

(1) 価値観「WILL/CAN/MUST」と会社のビジョンのベクトル(方向性)を合わせる

自分のやりたいこと(WILL)、自分の環境の中でできること(CAN)、組織人としてやらなければいけないこと(MUST)を明確にすることで、自分自身と会社のビジョンのベクトルを合わせる。自己分析をすることから、スタート。

(2) 自分ブランドの確立

『森本といえば「〇〇」』と自分の得意分野を周囲に認識してもらう。そうすることで、ほしい情報が向こうから流れてくる。それが、仕事の効率アップにもつながる。また、上司の信頼を得ると、やりたい仕事を任せてもらえ、仕事が楽しくなる。

(3) Career Star: 自分の理想のワークライフバランス

Careerとは「働くことと生き方」。仕事を通じてどのように生きていくか、が重要。森本さんの場合、人生全体を「仕事」「家族」「市民」「学び」「余暇」の5つに分け、それぞれの場面でどこに重きを置くかを常々考えて行動。

【2】働く30代のリアル

(1) 新入社員～20代前半に実践したこと

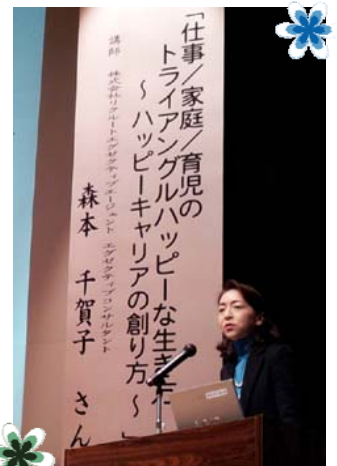
「人として魅力ある人になる」「仕事で期待以上の成果を出す」ことを常に考え、①時間の有効活用(森本さんの場合は午前3時に早起き) ②積極的に学び、学びを習慣化すること ③ネットワークづくりを実践。

(2) 結婚前に考え&実践したこと

①自分の志向にあったパートナーを選ぶ ②新しいことへのチャレンジを意識し、「未知への対応力」をつけることを実践。

(3) 出産後も仕事を続けるために…

①切り替え力を身につける ②他人のチカラを最大限借りる ③マネジメント(チーム力を引き出すこと)を難しく考えない！自分のやりたいことを全部やるために、どうしたらいいかを考えて実践。



講演される森本さん

神様が、皆平等に与えてくれているチャンスに乗っかるかどうか！！

『19年間の仕事を通して、「人との出会い」が財産』 『仕事=人脈(ファン)づくり』と話す森本さん。常にプラス思考で、やりたいことに妥協しない。仕事も考え次第で楽しくなるように、また、いかに自分がハッピーでいられるか、を常に考えておられ、そのエネルギーに圧倒されっぱなしでした。そんなエネルギーで前向きな方だからこそ、周囲の人がついていこうとするのだと感じました。

私自身、森本さんのように、「会えて良かった」「もう一度会いたい」と思ってもらえるようなステキな人間になりたいと思います。(担当:磨谷)



お茶の水女子大学 羽入学長にインタビュー



平成24年1月21日(土)、森本千賀子さんの公開講演会の前に、県内企業の女性リーダーの育成を推進するため、福井県とお茶の水女子大学が相互協力協定を締結しました。

福井を訪れたお茶の水女子大学羽入佐和子学長に、ご自身の経験談や理想のリーダー像についてお話を伺いました。

リーダーに必要な力は、「心遣い」・「知性」・「しなやかさ」

Q これまでの人生の中で「生き方」や「仕事観」に影響を受けた方はいらっしゃいますか？

具体的に誰という人はいないが、今まで出会った多くの先輩や周囲の人たちに影響を受けた。特に高等教育に理解があった親の影響は大きい。

Q これまで仕事を辞めることを考えるような困難にぶつかった経験は？
また、それをどのように乗り越えられましたか？

仕事と家庭の両方を選んだ生き方をしてきたが、仕事を辞めることになるなら、それはどうい
う時は考えていた。

私にとって家庭はとても大事なので、家庭が壊れそうになったときは、仕事を辞めようと思っ
ていた。しかし、これまで、決定的な状況には至らなかったので続けてこられた。

これまで、色々な困難もあったが、困難に行き当たった時には、周囲の色々な人たち（親兄弟、
親戚、近所、子どもの友達のお母さんなど）に助けってもらったとしみじみ感じている。



一つ一つの質問に、真剣な表情で
答えてくださる羽入佐和子学長

Q 女性リーダーの育成に当たり、どのような点を重視して学生達に伝えていきますか？
また、目指すリーダー像について、どのようにお考えですか？



お茶の水女子大学では、リーダーに必要な力として、次の3つのことを学生に示している。（図①）

*** 心遣い ***

自分と異なる意見も尊重し他者に配慮できること
(さまざまな価値観に対する寛容さを持つ)

*** 知性 ***

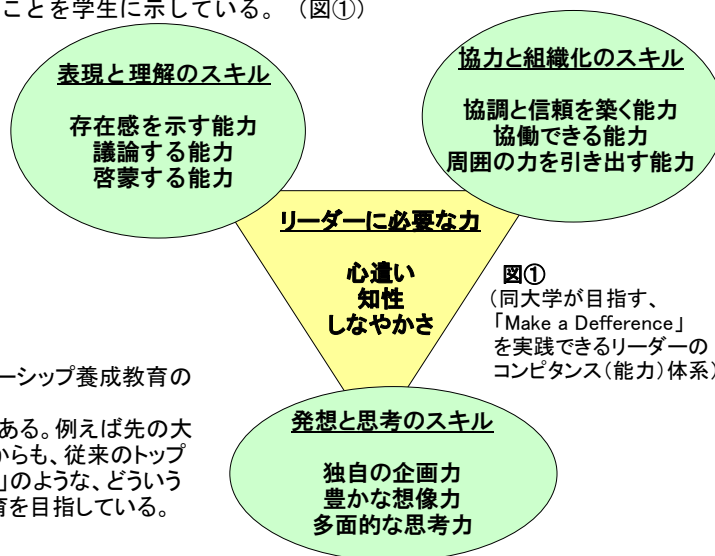
問題を的確に捉え解決すること
(知識を持つことの大切さ)

*** しなやかさ ***

難しい局面にも自信を持って柔軟に対応できること
(知識をもって適切な判断ができる見識を持つ)

これらのことを、女性が生きていく上で重要なことと考えており、リーダーシップ養成教育の
理念としている。

また、男女を問わずさまざまな環境に身を置かなくてはならないときがある。例えば先の大
震災では、生命の危機に関わる状況に直面させられた。こういったことから、従来のトップ
型リーダーやサポート型リーダーだけではなく、いわば「調和型リーダー」のような、どうい
う状況にあっても対応していく心構え、強さを持つ新たなリーダー像の教育を目指している。



寄附付き(※)の同大学のオリジナル
グッズ(写真①)

大切にしていることは「コミュニケーション」

Q 大学全体を総括するリーダーである学長になられて、新たに見えてきたことがおありですか？
また、リーダーとして心がけていらっしゃることは？

学長になって自分の大学を客観視するようになった。国立の女子大学としての組織を外から見た時に、どう
いう位置付けであるべきかという視点を学長になって初めて持ち、組織の社会的意義というものを考えるよう
になった。一例をあげれば、発展途上国の少女たちに教育の機会を提供するための寄附付商品の販売を大
学で行っている。(写真①)

リーダーとして心がけていることは、何よりも周囲とよいコミュニケーションをとることであるが、同時にそれ
は難しいことだと実感している。本当に伝えたいことは、相手に3割理解していただければよい方だと思う。
聞く側の文化に合わせた発信をしなければいけないと思っている。(つづく)

(つづき)

私の専門は哲学であるが、「理性的である」ということは、「よく聴き取ること」を意味する。人の言うことを十分に聴き取るように特に心がけている。自分自身でもまだまだ訓練が足りないと思っているが。

(※) 寄附付き商品の売上は、NGOを通じて、発展途上国の少女たちに教育の機会を提供する長期奨学金として寄附されています。
他にもTシャツ・ポーチ・マグカップ等が販売されています。

福井県の働く女性に向けてメッセージをお願いします！

福井県については、女性の有業率と出生率が高いことに注目しています。両方兼ね備えているのは福井県がトップ。2000年まで、この2つの数値は反比例していましたが、現在は比例に転じています。

その点に注目して、福井県と協力し、女性リーダーに必要な知識、スキル等を体系化し研修プログラムを作成していきます。この新しいプログラムにより福井県の働く女性たちがさらに磨きをかけていただき、日本全体が豊かに元気になるように、今後、手を携えて進めていきたいと思っています。

今回、調印式のため福井県に伺って、県がいかに女性の活躍のために力を尽くしているかが分かりました。また、それだけではなく、実際に女性が活躍していることがよく分かり、そのことを学生達に伝えたいと思っています。

**福井県の働く女性のみなさん！
日本全体が元気になるために一緒にがんばりましょう！！**



羽入学長、市古副学長らと記念撮影。
貴重な機会を有難うございました！！

★羽入学長の第一印象は、とてもチャーミングな方で優しい方でしたが、インタビューに入るとパワーを感じ、私たちが求めているリーダー像だと思いました。今後の活動等を通して少しでも近づけるよう自分磨きをしたいです。
(カメラ担当：宮崎)

★記録係をしていた私の方にも何度となく目を向け、真摯にお話しくださる姿が印象深く、誠実なお人柄を感じました。最後に、リーダー教育で示されていた3点は、今後の自分にとってのヒントをもらえたように思います。
(記録係担当：小竹)

★緊張して始まったインタビューでしたが、羽入学長の笑顔と、分かりやすいお話で、徐々に緊張がほぐれていき、学長の心遣いを感じました。リーダー教育の3点は、リーダー教育だけでなく、実際に生きていくうえでとても大事なことだと感じました。
(インタビュー担当：林)



【番外編】 森本千賀子さんとの交流会



講演会の後、ふくい女性ネットOGの会である「ふくい女性ネットNEXT」の進行のもと、森本千賀子さんとふくい女性ネット、NEXTのメンバーが交流会を開催しました。
この交流会は講師とメンバーとが相互交流を図り、より具体的なキャリア像を思案する目的で行われました。



メンバーに対し激励の言葉を
くださる森本さん

目標は、仕事をライフワークにすること！

メンバーが4つのグループに分かれ、森本さんが10分ずつ各グループを訪問していく、という形で進行了。どのグループも和気あいあいとした雰囲気、次々と森本さんに質問を投げかけていました。自分と上司の関係、人脈の作り方、結婚相手の選び方などの質問に対して、森本さんは迷うことなく的確に答えくださり、また、ユーモアを交え笑いの絶えない時間となりました。

実際に森本さんからご指導いただいたことを実践して、上司との関係が改善された人もおり、メンバーにとって確実にステップアップの場となりました。

また、森本さんの「仕事をライフワークにする！」という目標を伺い、モチベーションの高さに刺激を受けたメンバーもいました。

最後に、森本さんからふくい女性ネットに激励の言葉をいただき、交流会は終了しました。交流会後の名刺交換では、森本さんの前に長蛇の列ができ、森本さんの人気の高さや女性ネットメンバーのパワフルさを感じる時間でした。



森本さんと積極的に意見交換するメンバーたち

《森本千賀子さんの名言・アドバイス》

- ・一番にならないと人の記憶に残らない！
- ・上司はあなたからの一言を待っている！
→自分から意見を発信していこう！！
- ・結婚相手の家事能力の見極め方は??
→りんごの皮むきをしてもらう
バーベキューや旅行時にチェック!?



和やかな雰囲気でお話する森本さんとメンバー

どのグループもとても話が盛り上がり、10分では時間が足りませんでした。森本さんとの距離も近かったため、普段の悩みを素直に聞け、充実した時間となりました。森本さんからいただいた数々のアドバイスとパワーを、これからは役立てていこうと前向きな気持ちになりました。
(担当：松浦)

隣の女子社員☆

第4回目は・北陸電力株式会社から！

いつも明るく職場の雰囲気盛り上げている女性社員に、その元気の源について突撃インタビューしちゃいました！！

☆まずは、事務系より ロールモデル的存在の・・・

丹南支社 営業部営業担当 坂井 妙美さん

いつもいきいきと活発な印象の妙美さん!!その明るさと仕事ぶりで、みんなに信頼される存在です。現在は、法人のお客さまへの営業の仕事をしています。

家庭では中学校1年生と小学校5年生のお母さん。ご夫婦一緒に地域のスポーツ少年団のバドミントンの指導やお世話をしたり、書道では師範の腕前を持つなど、まさに文武両道。そのスタミナはいったいどこに?!



①エネルギーの源は?

へこんでいる時、悩んでいる時などは、目指すべき先輩や頑張っている同僚と話します。輝いている女性と話をすることで、自分も奮起でき「頑張ろう!!」というエネルギーをもらっています。

②どういう時楽しいと感じる?

おしゃべり。いろんな人の話を聞いて、知らないことを学べる時が一番楽しいです。

③日々工夫していることは?

大きな声を出すことと、笑うことです!!
あと、人には「ありがとう」という言葉を言うようにしています。

④リフレッシュ法は?

ストレス解消は、子どもたちとスポ少でバドミントンです。気分が晴れます。忙しくて煮詰まっているときは、書道に集中します。気持ちが落ち着くので、気分の切替には最適です。

⑤仕事と家事の両立で工夫していることは?

家事では自分の母に助けをもらう部分もあるので、母がリフレッシュできる時間をつくることにも心掛けています。

⑥先輩社員(職場のリーダー)として意識していることは?

自分がいい加減な仕事をすると、後に続く後輩に申し訳ないという意識を常に持っています。



☆次は、技術系 入社3年目のフレッシュウーマン

福井支店 営業部配電計画課 滝内 昌恵さん

なんと昌恵さんは、配電ウーマン!! 電柱だって登っちゃいます。

毎朝、元気なあいさつをし、てきぱきとした行動で男性の配電マンたちと現場へ出ていく姿は、全く違和感がありませんが、やっぱり爽やかな風を感じます!! そんな、ずっと持ち続けたい 若手社員のエネルギーの源は?

①エネルギーの源は?

いつも楽しみを持つことです。何か楽しみなことがあれば、そのために頑張る意欲がわいてきます。

②どういう時楽しいと感じる?

人の笑顔を見た時です。笑ったり、喜んだりしてもらえた時、何か少しでも役に立てたのかなと感じ、また頑張ろうと思います。笑顔があると、その場が明るくなり、元気になれます。

③日々工夫していることは?

今しかないという思いで意欲を持って行動し、後悔しないよう心掛けています。今与えられたチャンスを逃したら、この先いつできるかと考えると、何でもやってみたくになります。

④リフレッシュ法は?

睡眠です。眠ることで気持ちの切替ができるので、モヤモヤ悩むことがあっても、起きた時には忘れていくくらいリフレッシュしています。あとは、大好きなアイスを食べることです。毎日のアイスが、自分へのご褒美です。(笑)

⑤男性の職場で仕事をするに不安はありませんか?

周りの環境がよく、みなさんいい人ばかりなので楽しいです。体力面などで男性に比べて劣る所はありますが、自分ができることを教えてもらったり、させてもらったりして、気持ちでは負けないようにしています!!



ベテラン社員と若手社員のお二人ですが、共通していたのは、「笑顔」と「前向きな気持ち」をいつも持っているということでした。やっぱり笑顔って、まわりの人にも元気を与えるものなんですね…。時々大声で笑って、みなさんもリフレッシュしちゃいましょう!!

(担当: 田中)

ふくい女性ネット川柳 「小さい手 新たな家族の物語」 (ペンネーム: 見返らない美人)